

cultural management × future

未来へのアイデアを交換する [フューチャーセッション] 開催します。

今回のテーマは「休む」のマネジメント。

日本の有給休暇取得率は約5割、平均取得日数は10日前後です。世界最低レベルです。

個人がもっと自由に「休む」をデザインすることができるようになれば、
文化のために時間を費やしながリフレッシュし、ワークライフバランスも向上させられるのでは。

「休む」ことの効用&「休む」をもっと
増やしていく方策はあるのか？

難しい問題を、

皆で愉しく、
考えてみましょう。



cultural
management

もっと休む!

地域社会の創造的な未来のために何が出来るか？

多様な視点からアイデアを出し合い、協調的な企画を組み立てていく

公開ワークショップ[フューチャーセッション]を実施します。

予備知識も準備作業もありません。

自由に参加し、対話に加わってください。(申込不要・無料)

7月10日(金) 18:00-19:30

山口県立大学 3号館5階 C546室

このプログラムは、山口県立大学大学院の授業「文化マネジメント特論[CUMA]」
(各種の文化プロジェクトを成功に導くマネジメント力を理論と実践、両面から学ぶ)
の一環として実施します。

※国際文化科学研究科選択型FD(第132回 山口国際文化科学研究会)としてもご参加いただけます。

本企画担当：山口県立大学教授 齊藤理 tel. 083-929-6252